

(2) 事業・取組の実績



平成 23 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。なお、関連性の強い事業については、まとめて示しています。

ア 樹林地を守る

1	緑地保全制度等の拡充	・：事業費のないもの
---	------------	------------


特別緑地保全地区や源流の森の指定面積を、5,000 m²以上から 1,000 m²以上へ引き下げ、平成 21 年度より運用しています。

土地所有者ができるだけ緑地を持ち続けられるよう、新たな緑地保全制度の導入に向けた検討を進めます。

平成 23 年度の実績	< 年度目標 >
 市民緑地、管理協定の具体策について検討・調整し、制度活用の方向性を定めた	制度案策定
 緑地管理機構の指定手続きを定めた	

2	篤志の奨励制度	・：事業費のないもの
---	---------	------------

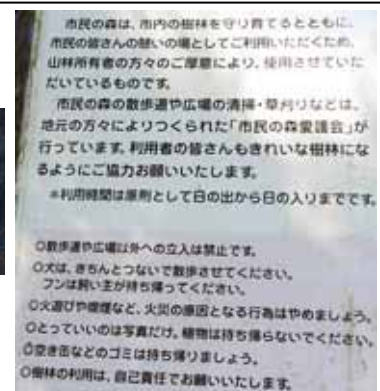
樹林地の公開に協力いただいた土地所有者の厚意に対し、謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。

平成 23 年度の実績	< 年度目標 >
 制度の詳細について、検討・調整	制度策定

市民の森やふれあいの樹林は、緑を保全するとともに、市民の皆さまに憩いの場としてご利用いただくため、土地所有者のご厚意により使用させていただいているものです。

こうした制度の趣旨や、ご協力いただいている土地所有者の方への謝意を表する看板等の設置に、引き続き取り組んでいきます。

【写真】看板の設置例



【写真】看板の掲出文例

3	緑地再生等管理事業	: 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
---	-----------	------------------------

多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等について間伐や下草刈りなどの管理を行ないます。

緑地保存地区等における危険樹木撤去や支障樹木の伐採について、助成を行います。

市民の森等を市民が安全に活用できるよう、危険斜面の整備などの管理を行ないます。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
🌲	市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り	202ha
	186.1 ha (99 箇所)	
🌲	緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成	83 件
🌲	市民の森等の斜面地での防災対策工事	危険斜面整備
	6 箇所	

緑地再生・管理

市民の森等における間伐や下草刈りについて、99の樹林地(186.1ha)で実施しました。



【写真】再生管理を行った竹林
(緑区/上山ふれあいの樹林)

樹林地維持管理助成

緑地保存地区等の緑地保全制度に指定している非公開の民有樹林地に対して維持管理費用を83件助成しました。



助成制度を利用した方の声

- ・高額な伐採費用が負担できず、作業を行えていなかったのですが、助成を受けようやく作業を行うことができました。
- ・道が明るくなり、子供たちも安心して通学路として使用できると、近隣の方から感謝されました。

危険斜面整備


対応が必要な危険斜面について、かぶと塚ふれあいの樹林(鶴見区)、下永谷市民の森(港南区)、飯島市民の森(栄区)など6箇所で開催を行いました。

4 市民協働による緑地維持管理事業 : 拡充事業
 (横浜みどり税一部充当)

樹林地の将来像や維持管理の考え方を定めた「保全管理計画」を、市民との協働で策定します。

すでに策定した樹林地において計画の検証やモニタリングを実施し、順応的管理()を推進しました。

() 順応的管理...作業の成果を検証し、計画を見直しながら進める管理のこと

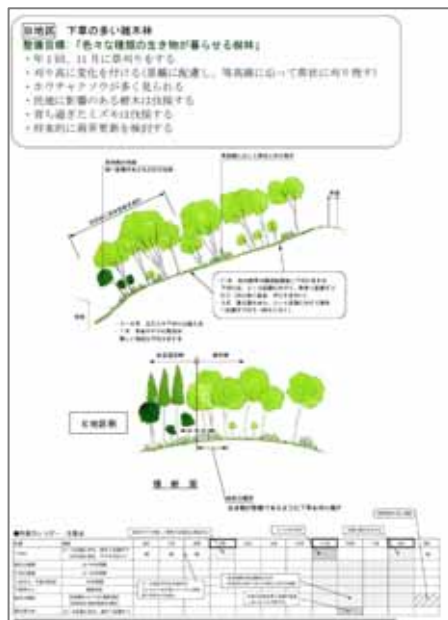
平成 23 年度の実績		< 年度目標 >	
 保全管理計画を策定した市民の森等	3 箇所	推進	

市民協働による緑地維持管理事業

- 樹林地の将来設計である「保全管理計画」を、市民の森愛護会などとの協働により、策定に取り組みました。

策 定	南本宿市民の森	旭区
	瀬上市民の森	栄区
	中田ふれあいの樹林	泉区

- 南本宿市民の森(旭区)では、市民の森愛護会の方や市民の森で調査を行っている大学の研究者らと現地見学や検討会を開催し、計画の策定を進めました。愛護会の方からは昔の管理の様子や最近見られなくなった生きものの復活への意欲が語られました。
- 平成 21 年度に保全管理計画を策定した追分市民の森、矢指市民の森(ともに旭区)では、専門家による植物相調査を実施しました。その結果、保全管理作業を行った区域では多数(87 科 277 種)の植物が記録されました。



【図】保全管理計画施業計画
 (保全管理計画書から抜粋、
 (旭区/南本宿市民の森))



【写真】保全管理計画検討会の様子
 (泉区/中田ふれあいの樹林)

5	森づくりリーダー等育成事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
---	---------------	---------------------

森の維持管理を市民との協働により進めるため、森に関わる人材育成を進めます。

森づくりボランティア団体の運営を担う「森づくりリーダー」、森の手入れ等の管理を行う「森づくりボランティア」、森の生き物観察や普及啓発を行う「はまレンジャー」を育成する講座を行います。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
🌲	森づくりボランティア育成	50 人
🌲	森づくりリーダー育成	5 人
🌲	はまレンジャー育成	5 人

森づくりボランティア育成

森づくりボランティア活動についての基礎的な講義と実際に野外で森づくり活動を体験する講座を開催しました。



【写真】森づくりボランティア養成講座
(2月19日開催、緑区/新治市民の森)

森づくりリーダー育成

横浜の森づくりの現状を、森づくりに関わる様々な人の立場に立って意見を出し合うワークショップを開催しました。



【写真】森づくりリーダー養成講座
(7月9日開催、中区/平沼レストハウス)

はまレンジャー育成



森の情報を集めて記録する方法などについて講座を開催しました。



【写真】はまレンジャー養成講座
(9月25日開催、栄区/上郷・森の家)

6 樹林地管理団体活動助成事業 :新規事業
 (横浜みどり税充当)

市民の森やふれあいの樹林等で森づくり活動をしている愛護団体の積極的な活動に対して支援を行います。
 森づくりボランティアについても、森づくり活動を自主的、計画的に進めることができるよう助成等支援を行います。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
 市民の森等の森づくり愛護団体への活動支援	助成金交付：2 団体 道具貸出：26 団体 研修の開催：12 団体	25 団体
 森づくりボランティアへの活動支援	助成金交付：3 団体 道具貸出：20 団体 研修の開催：7 団体	19 団体

支援内容

< 団体活動助成の実施 >

積極的な活動に対して、助成を行いました。



【図】団体活動助成の事例
 (花と実の写真集/新治市民の森愛護会)

< 道具の貸出 >

なたやノコギリ、コーンカバー、活動広報支援として腕章や帽子の貸出を行いました。

< 研修の開催 >

安全管理として救命救急講習会を実施しました。



【写真】救命救急講習会の様子
 (1月29日開催、中区/健康福祉総合センター)

7

森の楽しみづくり事業

:新規事業

(横浜みどり税充当)

樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PR し、市民と森とのつながりを再生するため、より多くの市民が森の魅力に触れて森に親しみ、楽しみながら横浜の森の現状を知ることによって保全に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型事業や情報発信に関する事業を実施します。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
 景観の森・生き物の森事業 - 生態系に配慮した植樹等	7.4ha (3 箇所)	5ha
 森の中のプレイパーク事業 - プレイパークイベント - プレイパーク支援	8 箇所 (169 人) 1 箇所	1 箇所
 森の収穫物体験事業 - 森の収穫物を楽しむ体験型イベント	16 回 (2,651 人)	4 回
 里山ライフ体験事業 - 里山の自然や文化を体験するイベント	4 回 (522 人)	4 回
 健康の森事業 - ウォーキングツアー	16 回 (580 人)	18 回
 横浜の森の自然・生き物情報発信事業 - ガイドマップ作成	3 地域	推進
 間伐材活用クラフト作成事業 - 間伐材を活用したクラフト作成イベント	10 回 (298 人)	推進
 森の恵み塾事業 - 森への関心を高める講座	83 回 (6,528 人)	3 拠点で実施

景観の森・生き物の森事業

市民の森等において、昆虫等が好む樹種等の植樹や生物多様性に配慮した重点的な管理を推進し、良好な景観や生き物の生息環境を創出に取り組みました。

実施箇所	区	面積
追分市民の森	旭	6.3ha
矢指市民の森	旭	(隣接しているため一体で管理を行っています。)
三保市民の森	緑	1.1ha

・追分市民の森(旭区)では、昆虫などの小動物の生息空間にもなる粗朶柵をつくりました。



【写真】粗朶柵づくりの様子 (旭区/追分市民の森)

森の中のプレイパーク事業

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを、街の中と森の中で実施しました。

<街の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
神奈川図書館	神奈川	17人
南図書館	南	16人
港南図書館	港南	24人
保土ヶ谷図書館	保土ヶ谷	15人
旭図書館	旭	20人
金沢図書館	金沢	16人
都筑図書館	都筑	16人
【計】 7箇所		124人



【写真】「街の中のプレイパーク」の様子
 (7月28日開催、旭区/旭図書館)
 ・グループに分かれて木の特徴を探し、図書館で調べもの学習を行いました。



参加者の声

- ・自然のこともっともっと知りたくなりました。
- ・公園内での風の向きや、風が吹きぬける場所を発見しました。
- ・身近にある木の名前を調べることができました。

<森の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
環境活動支援センター	保土ヶ谷	45人



【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
 (2月12日開催、保土ヶ谷区/環境活動支援センター)
 ・森を使ってネイチャーゲームを行い、遊びを通じて自然の楽しさ、素晴らしさを体験しました。



参加者の声

- ・よく来る場所なのに、いつもと違った場所のように感じることができました。参加してよかったです。
- ・親子での参加でしたが、子どもの興味を引き出してくれて楽しく自然とあそべました。
- ・大人も子どもも自然を楽しめる企画でとてもよかったです。

<プレイパーク支援>

- ・1箇所(旭区/鶴ヶ峰ふれあいの樹林)

森の収穫物体験事業

森の恵みを知り感謝の気持ちを育むことを目的に、収穫と活用を体験できる催し等を開催しました。平成23年度は、横浜美術館やボランティア団体との協働により事業を実施しました。

<横浜美術館 横浜みどりアップ・ワークショップ>

横浜の緑について考える機会となるようなワークショップを行いました。

ワークショップ名	会場
やさしい積み木づくり(2回)	横浜美術館(西区) 環境活動支援センター (保土ヶ谷区)
色の散歩(5月コース、11月コース) (各2回)	
光れ!ハマの泥団子(2回)	
横浜みどりアップワークショップ展	横浜美術館内 カフェ小倉山(西区)
【計】 9回	



【写真】
「色の散歩」森の恵みの標本づくりの様子(11月12日開催、西区/横浜美術館)

<その他のイベント等>

イベント名	会場	区
七夕であざみ野を飾ろう(2回)	アートフォーラムあざみ野	青葉
農と緑のふれあいまつり	環境活動支援センター	保土ヶ谷
栄区民まつり	本郷中学校	栄
みんなでつくるあったかクリスマス (親子編、子ども編各1回)	アートフォーラムあざみ野	青葉
お正月飾りを作ってみよう	市民ギャラリー	中
【計】 7回		

・横浜の身近な木で、自分の子どものために素敵なプレゼントができたことに、とても感激しました。



参加者の声

・様々な木々、自然から思ってもみない色もたらされることを知り、大変楽しい体験となりました。

・もっともっと多くの人に、森のことを伝えて楽しめるといいなと思いました。

里山ライフ体験事業

里山の成り立ちや自然と文化を知ることが目的に、農村の生活体験のできる古民家等を活用した体験型の催しを開催しました。

イベント名	会場	区
谷戸の暮らしはっけん隊	新治市民の森	緑
田んぼや水路の生き物を親子で観察	舞岡公園	戸塚
落ち葉探検隊と周囲の観察会	天王森泉公園	泉
紅葉のライトアップと琵琶とお茶席	長屋門公園	瀬谷
【計】 4回		



【写真】
「田んぼや水路の生き物を親子で観察」の様子(7月18日開催、戸塚区/舞岡公園)



参加者の声

・いろんな種類の田んぼの生き物を見ることができました。取り方と名前も丁寧に教えてくださったので勉強になりました。

・学校の近くでいろいろな野鳥を見ることができて楽しかったです。

健康の森事業

緑に親しむことにより、樹林地の保全に対する関心・理解を深め、あわせて市民の健康増進を図るため、市民の森等の樹林地をコースに組み込んだウォーキングツアーを、各種団体等と連携し実施しました。

<ウォーキングツアーの実施例>



【写真】「学んで実践 得々ウォーク」の様子
(9月17日開催、港北区/小机城址市民の森)



【写真】「自然とふれあうウォーキング」の様子
(9月24日開催、瀬谷区/東山ふれあいの樹林)



【写真】「舞岡の森で遊ぼう」の様子
(10月30日開催、戸塚区/舞岡公園)



【写真】「荒井沢の森探検隊」の様子
(11月23日開催、栄区/荒井沢市民の森)

参加者の声

- ・自然いっぱいの中でウォーキングをすることができて、とっても楽しかったです。
- ・元気で明るいガイドに感謝します。
- ・自分でもウォーキングをしていますが、歩き方の基本を教えていただき今後の参考になりました。

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 ア 樹林地を守る

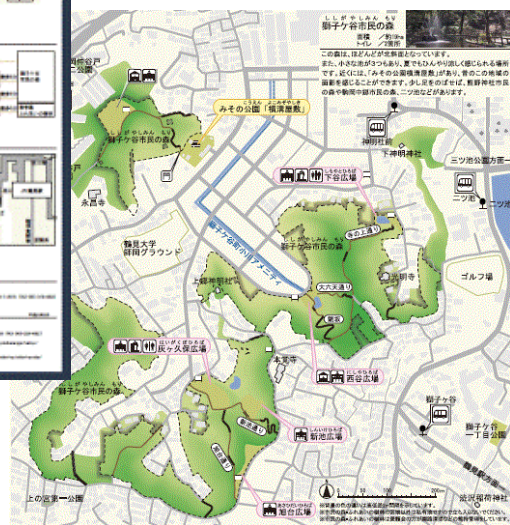
横浜の森の自然・生き物情報発信事業

ウォーキングなどの散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林地の自然・生き物情報や、距離を示したルート情報を1枚にまとめたパンフレットを、3つの地域で作成しました。

パンフレット作成地域	区
獅子ヶ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林地	鶴見
駒岡中郷市民の森・かぶと塚ふれあいの樹林地	鶴見
熊野神社市民の森・綱島市民の森	港北



【左図】
「獅子ヶ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林地」のパンフレット
・森・生き物情報や駅からの案内を表記



【右図】
「獅子ヶ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林地」のパンフレット
・主要な施設や高低差を表示

間伐材活用クラフト作成事業

樹林地の管理として発生する間伐材を活用することを目的に、主に子どもを対象としたクラフト作成ワークショップ等を開催しました。

イベント名	会場
竹の楽器づくり (4回)	横浜市児童遊園地(保土ヶ谷区)、 山王小学校(磯子区)
リースづくり	環境活動支援センター、横浜市児童遊園地(ともに保土ヶ谷区)
ミニ門松づくり	山王小学校(磯子区)
ひょうたんアート (2回)	山王小学校(磯子区)
ひな人形づくり (2回)	山王小学校(磯子区)
【計】10回	



【写真】「竹の楽器づくり」の様子
(8月9日、8月10日開催、
保土ヶ谷区/横浜市児童遊園地)

参加者の声

- ・「竹の楽器づくり」では、音程を合わせるのが難しかったが、竹を切るのが楽しかった。
- ・いろいろな木の実が見られてよかった。

森の恵み塾事業

多くの市民を対象に、森づくりの関心を高め、ボランティア活動への参加の契機となるよう、樹林地の特性を活かした多彩なメニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催しました。

<「森の恵み塾」の開催例>



【写真】
「よこはま森の楽校 竹の伐採と竹細工」の様子
(7月23日開催、都筑区/東京都市大学)



【写真】
「企業担当者対象生物多様性セミナー」の様子
(10月14日開催、栄区/横浜自然観察の森)



【写真】
「間伐材でマイアイススプーンづくり」の様子
(11月3日開催、中区/馬車道商店街)



【写真】
「森の恵み研究」の様子
(11月10日開催、青葉区/荏子田小学校)

参加者の声

- ・詳しく丁寧なお話をいただいて、分かりやすかったです。
- ・こんな近くに竹林があることを知りませんでした。竹で音がいろいろ出るのが楽しかったです。
- ・みどりの大切さを感じました。

8	みどりの夢かなえます事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
----------	---------------------	---------------------

樹林地の保全に関する活動をしている団体から樹林地の保全と利活用に資する提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進します。

平成 23 年度の実績	< 年度目標 >	
🌲 森づくり団体からの提案に対する実施支援	3 件	3 件

平成 23 年度は、平成 23 年 2 月より募集を開始、3 月 25 日に提案募集を締め切り、3 件の事業提案がありました。4 月のみどりの夢かなえます事業選考委員会において審査を行い、3 件の事業を決定し各団体において実施しました。

	助成事業	団体
1	森づくり団体の製材お助け作業	NPO 法人 よこはま里山研究所
2	森づくり活動研修 DVD (道具・機材の安全な使い方編) 作成事業	NPO 法人 グリーンプログラム
3	復権里山の力 ・竹灯籠の夕べ (6 月 25 日実施)	わかぎの会



【写真】竹灯籠の夕べの様子
(6 月 25 日開催)



【写真】森づくり団体の製材お助け作業の様子
(3 月 14 日実施)

参加者の声

- ・間伐材を板材にすることで、間伐材有効な活用方法について考える機会ができた。(森づくり団体の製材お助け作業)
- ・学区外の子どもたちも来場し、大盛況だった。来年も参加したいと子ども達が言っていた。(竹灯籠の夕べ)
- ・こんな近くにもすばらしい場所(樹林地)があったことを知らなかった。(竹灯籠の夕べ)
- ・楽しみにしていたので実施できよかった。(竹灯籠の夕べ)

9 間伐材資源循環事業 : 拡充事業
 (横浜みどり税一部充当)

市民の森やふれあいの樹林等で活動する森づくり団体が行う管理で生じた間伐材をチップ化して園路に敷く等の活動を支援し、森の手入れを促進します。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
森づくり団体への間伐材チップ化作業支援	45 回	推進
間伐材マネジメント研修	1 回 (29 人)	

間伐材チップ化作業支援

実施箇所	区	回数
南本宿市民の森	旭	8
川井特別緑地保全地区	旭	4
関ヶ谷市民の森	金沢	2
緑地保存地区 (能見台東)	金沢	8
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	2
茅ヶ崎公園	都筑	5
谷矢部池公園	戸塚	2
瀬谷市民の森	瀬谷	14
【計】		45



【写真】チップ化作業支援の様子 (旭区/南本宿市民の森)



【写真】チップを園路に敷きつめた様子 (旭区/南本宿市民の森)

間伐材チップ化作業支援を利用した森づくり団体の声

- ・ 間伐材が積んであることによる虫の発生を防ぎ、樹林内の環境改善に役立っています。
- ・ チップを園路に敷くと、雑草が園路に生えるのを防止する効果もあるのでよかったです。

間伐材マネジメント研修

会場	区
こども自然公園	旭

参加者の感想

- ・ 簡単な作業で良いものを作ることができて良かった。
- ・ 間伐材を活用し様々なものを作る可能性を感じた。

【写真】間伐材マネジメント研修の様子 (8月28日旭区/こども自然公園)



10	愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)
11	ウェルカムセンター整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)

愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するよう、活動拠点を整備します。

市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを整備します。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >
【10 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業】		
森づくり団体の活動拠点の設計	1 箇所	1 箇所
森づくり団体の活動拠点の整備	1 箇所	2 箇所
【11 ウェルカムセンター整備事業】		
ウェルカムセンターの整備	1 箇所	1 箇所

愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業

- ・設計：新治市民の森（緑区）
- ・整備：横浜自然観察の森（栄区）

ウェルカムセンター整備事業

横浜自然観察の森にある自然観察センターを一部増改築し、森の散策情報やイベント情報が得られるウェルカムセンターとして位置づけました。

- ・整備：横浜自然観察の森（栄区）



【写真】自然観察センター改修後の全景





【写真】自然観察センター増築箇所

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業

:拡充事業
 (横浜みどり税一部充当)

市内に残る貴重な緑地を保全するため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。

特別緑地保全地区の指定地等で、不測の事態による買取りの希望などに対応し、緑地を確実に担保します。

平成 23 年度の実績		< 年度目標 >	
 緑地保全制度による新規指定等	104.6 ha	309.9 ha	
 不測の事態による買取希望等への対応	34.0 ha	約 30 ha	

樹林地の新規指定【詳細】

制度	新規指定等	
	面積	地区詳細
近郊緑地特別保全地区	5.4 ha	・公田地区（栄区）5.4 ha
特別緑地保全地区	20.9 ha	・馬場四丁目地区（鶴見区）0.8 ha ・今宿町地区（旭区）2.8 ha ・下永谷地区（港南区）3.7 ha ・飯島町地区（栄区）6.7 ha ・港南一丁目地区（港南区）0.6 ha ・古橋地区（泉区）1.8 ha ・権太坂地区（保土ヶ谷区）2.2 ha ・岡津町地区（泉区）2.2 ha ・上星川一丁目地区（保土ヶ谷区）0.1 ha
市民の森	7.2 ha	・恩田地区（青葉区）1.5 ha ・川和地区（都筑区）3.5 ha ・【既指定地区の拡大指定】計 2.2 ha
緑地保存地区	17.3 ha	・54 件 17.3 ha
源流の森	51.1 ha	・105 件 51.1 ha
寄附緑地等	2.7 ha	・【寄附緑地】1.1 ha ・【建築物緑化保全】1.5 ha ・【農園付公園】0.1 ha
【合計】	104.6 ha	



【写真】公田近郊緑地特別保全地区（栄区）



【写真】今宿町特別緑地保全地区（旭区）

樹林地の買取対応【詳細】

制度	地区	区
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 	川井地区	旭区
	朝比奈地区	金沢区
	大倉山地区	港北区
	熊野神社地区	港北区
	日吉地区	港北区
	鴨居原地区	緑区
	三保地区	緑区
	名瀬北地区	戸塚区
	舞岡地区	戸塚区
	大丸山地区	栄区
	円海山地区	栄区
	野七里地区	栄区
古橋地区	泉区	
市民の森、ふれあいの樹林等 	東寺尾地区	鶴見区
	今宿地区	旭区
	綱島地区	港北区
	新治地区	緑区
	長津田地区	緑区
	恩田地区	青葉区
	寺家地区	青葉区
	新橋地区	泉区
瀬谷地区	瀬谷区	
【合計】	22 地区	34.0ha



【写真】川井特別緑地保全地区（旭区）



【写真】大丸山近郊緑地特別保全地区（栄区）

13 よこはま協働の森基金制度の見直し

・事業費のないもの

市民に身近な小規模樹林地を、市民と行政との協働で取得し保全する「よこはま協働の森基金制度」について、より活用される制度とするため、制度を一部改正し、平成 23 年度より運用を開始しました。

平成 23 年度の実績	< 年度目標 >
適用条件の緩和を中心に見直し改正した制度で、運用を開始	制度運用 (平成 22 年度制度改正)

「よこはま協働の森基金事業」の概要

よこはま協働の森基金事業とは

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、「よこはま協働の森基金」を創設し、市民の皆さまが自主的に集めた資金と「基金」からの拠出金とを合わせ、樹林地を取得する制度です。一団のまとまりのある良好な樹林地が対象です。

市民の皆さまの活動

- ・身近な樹林地の保全を発意し、土地所有者の方々から売却の承諾を得ます。
- ・募金活動を行い、取得費用の 1 割以上（上限あり）を集めます。
- ・取得後、樹林地の日常的な管理を行います。

見直しの背景

制度の導入以来、実績が 1 箇所に止まってきたことから、より活用される制度とするため、制度の見直しを行い、平成 23 年度より運用を開始しました。



【写真】
保全された樹林地（金沢区）

改正内容の比較

項目	改正前	課題	改正後
樹林地の面積基準	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	買取制度のある特別緑地保全地区の面積基準を、平成 21 年度に 1,000 m ² に引き下げたことで、面積基準が重複したことや、小規模樹林地の保全に対応すること	300 m²以上 1,000 m²未満
	一団が 5,000 m ² 以上の大きな樹林地は対象外	面積基準を超える大規模な樹林地の一部は、事業の対象としない	1,000 m²以上の樹林地の一部（300 m²～1,000 m²）も対象
取得費用	取得費用の 1 割以上を住民団体が負担	取得価格が高額な場合、取得に当たり住民団体の負担感が大きい	取得費用の 1 割以上を住民団体が負担し、 上限額を 500 万円とする
	・住民団体の負担金 ・「よこはま協働の森基金」からの拠出金	取得財源は、住民団体の負担金と基金からの拠出金のみで、他の財源が導入できない	現行に加え、 国費等の他の財源も導入を可能とする
取得後の維持管理	住民団体が主体の維持管理	取得後の維持管理における住民団体の負担感がある	住民団体は、 日常的な管理に限定する

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - ア 樹林地を守る

14

国への制度要望

・：事業費のないもの

相続税の納税対象に緑地が含まれる場合は、緑地の保全を優先すること、また、緑地保全等に係る税制上の負担軽減措置の創設・拡充等を国に対し要望していきます。

平成 23 年度の実績

< 年度目標 >



緑地保全につながる制度の創設・拡充について、
6 月、8 月に要望を実施

推進